

公立八鹿病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年12月 策定

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

1) 西南但馬地域の中核病院として、当地域の急性期・慢性期・在宅医療を担う。また、公立病院として、高度医療、特殊医療、不採算医療を担い、一般病床の他に、回復期リハビリテーション病床、地域包括ケア病床、療養病床、緩和ケア病床及び障害者病床を有する、ケアミックス型の病院機能を維持する。

2) 救急医療は、地域住民が期待している最も重要な医療のひとつであり、救急医療体制の強化に努めるとともに、近隣の医療機関との連携を図り、二次救急までを担う。

3) 少子高齢化への対応等、住民ニーズの的確な把握と意思の尊重、情報の公開等により地域住民との合意形成を推進し、常に医療サービスや安全性の向上に努める。

4) 保健、医療、福祉の一層の充実のため、行政や福祉事業所とも密接な連携を取り、地域がひとつの病院として機能する体制を目指すことで、住民が安心して暮らせる社会作りに貢献する。

5) 検診事業の充実により、疾病の早期発見と早期治療を図る。人間ドックをはじめ、ガン検診などの各種検診を効果的に実施することで、地域住民の健康を守る。

6) 地域の医療需要に対応した医療機能の維持、確保を図るため、医師確保の取り組みの強化や職員の自己研鑽によって、医療水準の向上と各診療部の診療体制の充実を図る。

7) 効率的な管理運営を行い健全経営に努めることで、地域に必要とされる病院を目指す。

② 今後持つべき病床機能

今後も、一般病床の他に、回復期リハビリテーション病床、地域包括ケア病床、療養病床、緩和ケア病床及び障害者病床を有する、ケアミックス型の病院機能を維持する。

③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	0	→	0
急性期	200		180
回復期	100		100
慢性期	113		93
(合計)	413		373

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度			
2018年度	急性期一般病棟 △20床 療養病棟 △20床	10月1日より380床（結核病床7床を含む）にて稼働する予定。	
2019～2020年度			
2021～2023年度			

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

<p><u>医療提供に関する項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病床稼働率：70%以上 ・ 手術室稼働率：－ ・ 紹介率：50%以上 ・ 逆紹介率：80%以上 <p><u>経営に関する項目*</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費率：66%以下 ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合：－ <p>その他：</p>

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)

<p>診療報酬制度を含む医療環境の変化に応じて見直す可能性がある。</p>
